



つながる つたえる のびる 高ヶ坂小学校

2026年3月25日
町田市立高ヶ坂小学校
校長 岩崎 直美
学校だより 年度末号

修了式 ～みんながしあわせに～

校長 岩崎 直美

2026年3月25日(水)、2025年度修了式を行いました。子どもたちに話した校長の話です。

皆さん、おはようございます。前の人から静かに座りましょう。

昨日は第48回卒業式を行い、58名の6年生が高ヶ坂小学校を卒業していきました。ですから、3年生の隣りが空いていますね。卒業式では在校生代表として、5年生が参加しました。入退場のリコーダーの演奏、門出の言葉での呼びかけ、座っているときの態度がとても素晴らしく立派でした。バトンを受け継いだ5年生に、1年生から4年生までの皆さんで「ありがとう」の拍手を送りましょう。

さて、今、各学級の代表の人に手渡したのは、「修了証」です。1年生なら「1年生で学ぶことが全部終わりました」ということです。2年生なら「2年生で学ぶことが全部終わりました」ということです。毎年一年ずつ積み重ねていき、6年かけて「小学校で学ぶすべて」が終わるのです。

今年度は202日、学校での生活がありました。5年生は卒業式に参加したので1日多い203日です。皆さんの通知表を見ましたが、皆さんの中にはこの一年間学校を休まずに登校した人がいました。暑い日も寒い日もそして雨の日も元気に来ることができたというのは、素晴らしいことだと思います。あとで、担任の先生から通知表をいただいたら、出席・欠席の欄を一番に見てほしいです。

さて、改めて、皆さんに考えてほしいことがあります。

それは、「私たちはなぜ、勉強をするのか」ということです。皆さんに聞いてみましょう。誰か、自分の考えを発表してくれる人はいますか。(手を挙げた子がいましたので、名前を呼んでその場に立って、大きな声で話してもらいました。指名した子どもたちは、「はい」と返事をすることもできました。これまでも朝会の場で子どもたちが手を挙げて発表することをしてきたので、何人もの子が発表しました。)そうですね、「将来なりたい職業に就くため」や「世界中の人と話ができるようになるため」など、皆さんが自分の考えをもっていることを知って、私は嬉しくなりました。

以前、この本を Meet 朝会で紹介しました。題名は、「ハートのレオナとエレナ」。歌手の MISIA さんが作った絵本です。この中で、体にハートマークのあるライオンの子ども、レオナとエレナはアフリカの大地に暮らしながら、文字が読めないばかりに、具合の悪い我が子に薬だと思って毒薬を飲ませてしまった母親の存在を知ります。アフリカの学校をそっと見学しながら「しあわせになるために、いろんなことを学んでいくんだね。」と話します。「しあわせになるため」という言葉、私はとても素晴らしいと思いました。レオナとエレナの会話には、こういうものもあります。「ものは壊れたり、なくなったりすることもあるけれど、学んだことはなくならない。一生の宝物になるよ。」です。この言葉を、皆さんはどう思いますか。皆さんは、小学校で学んだことがたくさんありますから、宝物をいっぱい持っていることになりそうです。4月からは一つ上の学年に進みますが、そこでもたくさん学んで、みんなできあわせになっていしましょう。明日からの春休みは、事故にあわず、元気に、そして笑顔で過ごしてください。これで私の話を終わります。

私事ですが、3月31日付をもちまして校長を退職いたします。本校には5年間、お世話になりました。コロナ禍での着任ではありましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまにはいつもご理解ご支援を賜り、本校の学校教育を支えていただきました。心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの健やかな成長を願っています。皆さまもどうぞお元気で、そして笑顔でお過ごしください。